

(社) 日本建築学会近畿支部

2005 年度第 1 回空気環境部会 議事録 (案)

- 日時 : 平成 17 年 9 月 29 日 (木) 16:00~17:00
- 場所 : 大阪市立大学文化交流センター 大セミナー室
- 出席者 : 山中俊夫 (主査)、甲谷寿史 (幹事)、東実千代、阿部弘明、井上義雄、川戸敏雄、小早川香、中尾正純、榎崎正也、西村宏昭、橋本頼幸、平石年弘、守屋好文、山田裕巳、住田文雄 (15 名)
- 資料 : 議事次第 (資料 1-1)
部会設置申請書・部会員名簿 (資料 1-2)
部会員紹介 (資料 1-3)
シックハウス症候群問題へのさまざまな取組み (資料 1-4)
日本建築学会 2005 年度大会 (近畿) 学術講演会・建築環境工学および空気環境分野のプログラム (資料 1-5)
平成 17 年度活動計画についての検討事項 (資料 1-6)
2006 年度大会研究集会のテーマ立案のお願い (資料 1-7)

- ・ 資料 1-1 に基づき、山中主査より挨拶と部会の設立経緯の説明が行われた。
- ・ 本年度の予算は、4 万円である。

1. 自己紹介

- ・ 各部会員から自己紹介と共に今度興味のある内容に関する紹介が行われた。

2. 「シックハウス症候群問題へのさまざまな取組み」阿部弘明委員

- ・ 阿部委員からプレゼンテーションがなされ、以下のような質疑があった。
 - ・ シックハウス症候群(SHS)の定義。
 - ・ 省エネとシックハウス対策が矛盾するとの指摘に関して。
 - ・ 中和療法とは。
 - ・ 無垢材からの VOC 発生に関して。
 - ・ F☆☆☆☆を使えば安全なのか。
 - ・ 現場で VOC 測定は実際に行われるのか
 - ・ 品確法の提示などは行われるのか
 - ・ SHS 疫学研究の結果が高値であるが母数は何か
 - ・ 近年患者は減少しているのか
 - ・ 保健所はどのように関与しているのか。

3. 空気環境部会の活動方針について

- ・ 資料に基づき、方針に関してフリーディスカッションを行った。
- ・ 今年度は今回を含めて12月と3月の、3回開催する。
- ・ 医学の先生など、違う分野の方を招へいしてディスカッションの場を設ける。
- ・ 見学会に関しては、例えば以下が考えられるが、山中主査に一任する。
 - ・ シックハウスの見学。実住宅は困難。
 - ・ 低TVOCクリーンルームを持つ施設の見学。関西労災病院、松下電工など。
 - ・ ハウスメーカーの工場見学。積水ハウス、パナホームなど。
 - ・ 日本総合試験所の見学。
- ・ 委員輪番による話題提供。
 - ・ 次回、換気システムの汚染に関する研究結果を、山田委員が話題提供する。
- ・ 読み合わせなどの勉強会。
 - ・ 次回、住宅の換気性能評価指標に関して、山中主査が話題提供する。

4. 日本建築学会大会 2005 年における空気環境研究動向

- ・ 資料の説明があった。

5. その他

- ・ 2006 年度大会研究集会のテーマ立案に関して、テーマの提案があれば 10/21 までに山中主査まで連絡することとする。

次回：2005 年 12 月頃（メールにて日程調整） 見学会＋話題提供
を予定

（記録：甲谷寿史）